



はとのさと保育園クラスたより



ひよこ組(0歳)

寒さが本格的になり、冬がやってきているのを感じています。子ども達も外に出ると、ぶるっど震えるような姿もみられました。天気のよい日には中庭へ出て、元気よくハイハイする子ども、お友達とお皿を並べて、「あ〜ん」と口を開けて食べる真似をしたり、「モグモグと」口を動かしたり、お友達や保育者と一緒に見立てつもり遊びを楽しんでいます。ホールにもたくさん遊びに行き、マット、大型戸板で斜面のぼり等しながらも、ピカピカ光るクリスマスツリーに目をキラキラさせていました。手を伸ばして、こっそり手にとって保育者に見せてみたり、「つけてと」指差したりと思いを伝えようとしています。

1月はホールの雰囲気になれ始めている子ども達と、大好きな絵本のまねっこ遊びやわらべうたあそびなど、保育者や友達と一緒に「あーうー」と声を出しながら「いないいないばあ」や「もういいかい」など、ふれあい遊びを楽しんでいきたいと思っています。まだまだ寒さも続きます。クラスでも手洗いや水分補給など感染予防に気をつけていこうと思っています。

体調に変化がある場合等、声をかけて下さいね

ひよこ組(0歳児)



りす組(1歳)

新しい年が明け、久しぶりに登園する子ども達の賑やかな声に担任一同嬉しく感じています。今年もよろしくお祈りします。先月は、鶴林寺へ散歩に行き広い芝生の上で両手を広げ飛行機に変身して「ひこうきぶんぶん〜♪」と歌に合わせて走り回ったり、松林の方ではでこぼこ道や坂を上手にバランスをとりながら歩いたり、落ち葉でかけあったり雨のように降らせたりと、自然物に触れて楽しみました。また、サンタさんの絵本を見て、指差するなどサンタさんが来ることを楽しみにしていました。サンタさんに会うと驚いた様子でしたがプレゼントをもらって笑顔のりすぐみさんです♪

今月は、凧あげやコマ回しなどお正月遊びを楽しんだり、とんどやおもちつき会の行事も参加し伝統的な行事の雰囲気を感じたいと思います。また、絵本の中の楽しいやりとりをみんなでイメージをふくらませながら言葉をかけあい楽しんでいきたいと思っています。寒さが増す時期ですが、暖かいときには戸外にでて「まてまて〜」とおいかけてっこをして体を動かしたり、室内では大型遊具やリズム、体操などで元気いっぱい遊びたいと思います。

りす組(1歳児)



うさぎ組(2歳)

子ども達の笑顔や元気な声と共に、新しい年がスタートしました。今年も笑顔いっぱい元気なうさぎ組でいたいと思います。

1月は餅つき、とんどの行事があったり、凧あげ、コマ回し、福笑いなどの昔ながらのお正月遊びをして楽しもうと思っています。また、昨年から続けている絵本の中のごっこ遊びも大好きで、何かになりきって遊ぶことを楽しんでおり、子ども一人一人それぞれの表現やイメージを大切にしながら、言葉のやりとりやごっこ遊びを楽しんでいきたいと思っています。お友達と楽しさを共有しながら、より友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしたいです。

寒い日でも戸外遊びが大好きな子ども達と、園庭ではしっぽ取りやだるまさんがころんだなどの遊びを通して、順番や簡単なルールを知り、集団遊びを楽しみたいと思います。他には、リズムや散歩など、身体をたくさん動かして寒さに負けない体づくりをしていこうと思っています。

うさぎ組(2歳児)



きりん組(3歳)

長いお休みが明け、子どもたちも少し大きくなったような気がします。先月は、様々な行事がある中で、外国や日本のそれぞれの文化に触れることができました。その中で、友達と一緒に話をしたり、考えたりしながら、新しい気づきもありました。先日散歩に行ったときに、「クリスマスが終わったらお正月がくるね」と話をしたときに、子どもから「お正月ってお弁当食べるんやろ？」と投げかけがありました。それに対して、「お弁当は遠足やん」「でも、なんか食べるな」「なんやったっけ？」と子ども同士で話をしていました。「おせち料理のこと？」と尋ねると、「それぞれ!!」「何が入ってたっけ？」と、疑問も多くありました。年々自分たちの経験が記憶の中に残り、それを元に話をしている姿を見て、成長を感じました。

さて、1月はお正月遊びをみんなで楽しむ中で、新しい遊びのルールを理解していけたらと思います。また、ごっこ遊びを通して自分の好きな役を選んだり、なりきりながら言葉で相手に伝える楽しさを感じてもらいたいと思います。

寒さにも負けず、元気いっぱい外でも遊んでいくので、手洗いうがいはお家でも一緒にしてあげてくださいね。

きりん組(3歳児)



ぞう組(4歳)

急激に寒くなり本格的な冬の到来です。12月のぞう組は、寒さを吹き飛ばす勢いで、氷鬼、へび鬼、けいどろなど、友だちと誘い合って走り回って遊び、「暑くなってきたわ」「心臓ドキドキしてるで」など、体の中から暖くなる体験を重ねました。子ども達が楽しみにしているクリスマス会もありました。リースや飾りを作り、少しずつクリスマスへ向けて楽しみな気持ちを高めてきました。「サンタさんが夜に来るのなんでやろ?」「トナカイってなんで空飛べるんやろな?」などの疑問や、サンタさんについての色々な会話がそこかしこから聞こえてきて、あーでもない、こーでもない保育者も交え、みんなで話す楽しい時間も過ごしました。子ども達のクリスマスに対する期待の高さがうかがえる日々でした。一方でクリスマスはプレゼントをもらうだけの日ではありません。自分だけではない他者に想いを寄せることも、今のぞう組の子ども達だからこそ知ってほしいとも思います。

1月はお正月やとんどなど日本の伝統行事に触れる機会が多くあります。又、2月の生活発表会に向けて劇遊びも楽しんでいきます。思い思いの表現を楽しむ中で、認めてもらったり、みんなで話し合ったりする経験を重ねていきます。

ぞう組(4歳児)



ほし組(5歳)

12月は子ども達が1番楽しみにしているクリスマス会がありました。ほし組は火の大切さや危険なども伝えながらキャンドルサービスをしたり、たくさん練習してきた合奏を披露したりと大活躍でした。プレゼントもたくさんもらい、大喜びの子ども達でしたよ!

また、異年齢交流の機会をたくさん設けました。きりん組やぞう組のお友達とウォークラリーをしてツリーを完成させたり、折り紙をしたり、散歩に行ったり…初めは緊張する様子もありましたが、少しずつ関係も深まり、名前を呼び合って楽しそうに会話する姿も増えてきました。残念ながら感染症が流行り、きりん組とぞう組のお友達と一緒にご飯を食べることは出来ませんでしたが、クラスでクリスマスの雰囲気を楽しみながらお友達と楽しく給食を食べました。

1月はお正月遊びをしたり、書初めをしたり、おもちつきやとんどの行事に参加したりと由来や意味にも興味をもちながら楽しんでいきたいと思っています。また、表現遊びでは役の心情なども考えながらなりきって遊ぶ楽しさを感じることが出来たらいいなと思っています。

ほし組(5歳児)

